

## 演習①

○ショートステイの職員であるあなたは、どのように行動しますか？

【個人ワーク】

【他者の意見】

演習②

OB Barthel Index

パーセルインデックス (Barthel Index)

項目	点数	判定基準
食事	10点	自立、手の届くところに食べ物を置けば、トレイあるいはテーブルから1人で摂食可能、必要なら介助器具をつけることができ、適切な時間内食事が終わる
	5点	食べ物を切る等、介助が必要
	0点	全介助
移乗	15点	自立、車椅子で安全にベッドに近づき、ブレーキをかけ、フットレストを上げてベッドに移り、臥位になる。再び起きて車椅子を適切な位置に置いて、腰掛ける動作がすべて自立
	10点	どの段階かで、部分介助あるいは監視が必要
	5点	座ることはできるが、移動は全介助
	0点	全介助
整容	5点	自立(洗面、歯磨き、整髪、ひげそり)
	0点	全介助
トイレ動作	10点	自立、衣服の操作、後始末を含む。ポータブル便器を用いているときは、その洗浄までできる
	5点	部分介助、体を支えたり、トイレトペーパーを用いることに介助
	0点	全介助
入浴	5点	自立(浴槽につかる、シャワーを使う)
	0点	全介助
歩行	15点	自立、45m以上平地歩行可、補装具の使用はかまわないが、車椅子、歩行器は不可
	10点	介助や監視が必要であれば、45m平地歩行可
	5点	歩行不能の場合、車椅子をうまく操作し、少なくとも45mは移動できる
	0点	全介助
階段昇降	10点	自立、手すり、杖などの使用はかまわない
	5点	介助または監視を要する
	0点	全介助
着替え	10点	自立、靴、ファスナー、装具の着脱を含む
	5点	部分介助を要するが、少なくとも半分以上の部分は自分でできる。適切な時間内にできる
	0点	全介助
排便コントロール	10点	失禁なし、浣腸、座薬の取り扱いも可能
	5点	時に失禁あり、浣腸、座薬の取り扱いに介助を要する
	0点	全介助
排尿コントロール	10点	失禁なし
	5点	時に失禁あり、収尿器の取り扱いに介助を要する場合も含む
	0点	全介助

## 演習②

### ○老研式活動能力指標

#### 老研式活動能力指標

	質問	1	0	1か0を記入
1	バスや電車を使って1人で外出できますか	はい	いいえ	
2	日用品の買い物ができますか	はい	いいえ	
3	自分で食事の用意ができますか	はい	いいえ	
4	請求書の支払いができますか	はい	いいえ	
5	銀行預金・郵便貯金の出し入れが自分でできますか	はい	いいえ	
6	年金などの書類が書けますか	はい	いいえ	
7	新聞を読んでいますか	はい	いいえ	
8	本や雑誌を読んでいますか	はい	いいえ	
9	健康についての記事や番組に関心がありますか	はい	いいえ	
10	友だちの家を訪ねることがありますか	はい	いいえ	
11	家族や友だちの相談にのることがありますか	はい	いいえ	
12	病人を見舞うことができますか	はい	いいえ	
13	若い人に自分から話しかけることがありますか	はい	いいえ	
		合計得点		点

点数が高いほど自立していることを表す。

#### 老研式活動能力判定のための性・年齢別得点(平均値±標準偏差)

	男性	女性	計
65～69歳	11.8±1.9 (316)	11.8±2.0 (352)	11.8±2.0 (668)
70～74歳	11.1±2.8 (236)	11.0±2.4 (301)	11.0±2.6 (537)
75～79歳	10.4±3.2 (134)	10.5±2.9 (211)	10.5±3.0 (345)
80歳～	8.7±4.2 (96)	7.6±4.2 (163)	8.0±4.2 (259)
計	11.0±3.0 (782)	10.6±3.1 (1,027)	10.8±3.0 (1,809)

( )は標本数

(出典：古谷野亘ほか：地域老人の生活機能：老研式活動能力指標による測定値の分布．日本公衆衛生雑誌 1993；40：468-78．より)

【合計点】

○Barthel Index                    \_\_\_\_\_点

○老研式活動能力指標            \_\_\_\_\_点

【現在の「している」活動と「できる」活動の差】

演習③

A large empty rounded rectangular box with a thin black border, intended for writing the answer to the exercise.

## 認知症高齢者への環境支援のための指針（PEAP 日本版 3）

認知症高齢者への環境支援指針は、認知症高齢者が安心して、その人らしく、自立した生活を送れるように、施設の物理的・社会的・運営的な環境要素を活かした支援を行うための指針です。Professional Environmental Assessment Protocol の頭文字をとって PEAP ピープと呼ばれています。

次元	次元の概念	中項目
1.見当識への支援	時間・空間・そこで行われていることなどが、入居者にとり分りやすくする環境支援。	1) 環境における情報の活用 2) 時間・空間の認知に対する支援 3) 空間や居場所の分りやすさ 4) 視界の確保
2.機能的な能力への支援	入居者の日常生活動作や日常生活の自立を支え、さらに継続していくための環境支援。	1) 入居者のセルフケアの自立能力を高めるための支援 2) 食事が自立できるための支援 3) 調理、洗濯、買い物など活動の支援
3.環境における刺激の質と調整	入居者の適応や感性に望ましい良質の環境の刺激を提供する。および環境の刺激が混乱やストレスを招かないように調整する。	A 環境の刺激の質 a-1) 意味のある良質な音の提供 a-2) 視覚的刺激による環境への適応 a-3) 香りによる感性への働きかけ a-4) 柔らかな素材の提供 B.環境における刺激の調整 b-1) 生活の妨げとなるような騒音を調整 b-2) 適切な視覚的刺激の提供 b-3) 不快な臭いの調整 b-4) 床などの材質の変化による危険への配慮
4.安全と安心への支援	入居者の安全を脅かすものを最小限に留めるとともに、入居者、スタッフ、家族の安心を最大限に高める環境支援。	1) 入居者の見守りやすさ 2) 安全な日常生活の確保
5.生活の継続性への支援	慣れ親しんだ環境とライフスタイルを継続するために、個人的なものの所有や家庭的な環境づくりの2つの側面から支援する。	1) 慣れ親しんだ行動とライフスタイルの継続への支援 2) その人らしさの表現 3) 家庭的な環境づくり 4) 地域とのつながり
6.自己選択への支援	入居者の自己選択が図られるような環境支援。	1) 入居者への柔軟な対応 2) 空間や居場所の選択 3) 椅子や多くの小物の存在 4) 居室での選択の余地
7.プライバシーの確保	入居者のニーズに対応して、ひとりになったり、他との交流が選択的に図れるような環境支援	1) プライバシーに関する施設の方針 2) 居室におけるプライバシーの確保 3) プライバシー確保のための空間の選択
8.ふれあいの促進	入居者の社会的接触と相互交流の促進を図る環境支援。	1) ふれあいを引き出す空間の提供 2) ふれあいを促進する家具やその配慮 3) ふれあいのきっかけとなる小道具の提供 4) 社会生活を支える
9.その他	上記に含まれない項目はその他として加える	

# 環境づくり アイデアシート

練馬区立富士見台特別養護老人ホーム

資料作成 2005年11月16日

実施日 2005年11月15日

環境づくりをする場所は( 2階フロア全体 )です。私たちはその場所を( 2階の入居者様 )にとって  
お気に入りの空間を作ります!! な「環境」にします!

	← 実行しやすい → 実行しにくい →		
1.見当識への支援  入居者の見当識を物理的・社会的・時間的に支援	日程表	掲示物移動	装飾担当がいる
	2F奥非常口の鍵交換	廊下に目隠し	
		季節に合ったプランター維持	
2.機能的な能力への支援  日常生活における自立活動を維持・継続する	姿見鏡を用意	掲示物移動	装飾担当がいる
	整容ラック	お客様と協働作業(ケアプラン 連動)	
	個人にあった食席	食堂・キッチン整理	
3.刺激の質と調整  入居者の適応を助け、ストレスにならない刺激の質を確保して、調整する	日程表	掲示物移動	洗濯要員
	木製ベンチの活用意識	廊下に目隠し	装飾担当がいる
		季節に合ったプランター維持	
		お客様と協働作業(ケアプラン 連動)	
4.安全と安心への支援  安全を脅かすものを最小にして、安心を最大に	2F奥非常口の鍵交換	食堂・キッチン整理	装飾担当がいる
	個人にあった食席		
5.生活の継続性  個人的なものの所有、非施設的な環境づくり	姿見鏡を用意	掲示物移動	装飾担当がいる
	整容ラック	廊下に目隠し	
	個人にあった食席	季節に合ったプランター維持	
		お客様と協働作業(ケアプラン 連動)	
6.自己選択への支援  物理的環境や施設の方針によって入居者の自己選択を図る	姿見鏡を用意		
	整容ラック		
	個人にあった食席		
	木製ベンチの活用意識		
7.プライバシーの確保  入居者のニーズに対応し一人になったり、他との交流が選択的に図れる	木製ベンチの活用意識	廊下に目隠し	
8.ふれあいの促進  社会的な接触と他者との交流の促進	日程表	TV薄型	装飾担当がいる
	2F奥非常口の鍵交換	掲示物移動	
	個人にあった食席	季節に合ったプランター維持	
	木製ベンチの活用意識		
9.その他 上記に当てはまらないもの			

- 1 姿見鏡を用意
- 2 整容ラック
- 3 日程表
- 4 2F奥非常口の鍵交換
- 5 TV薄型
- 6 洗濯要員
- 7 掲示物移動
- 8 装飾担当がいる
- 9 個人にあった食席
- 10 木製ベンチの活用意識
- 11 廊下に目隠し
- 12 季節に合ったプランター維持
- 13 お客様と協働作業(ケアプラン連動)
- 14 食堂・キッチン整理

## 演習④

### ○危険予知トレーニング (KYT)

①リスクと思われること

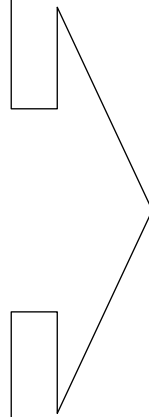
- ・個人ワーク

- ・他者の意見

②具体的な改善策

- ・個人ワーク

- ・他者の意見



## 演習⑤

○皆さんだったら碓さんとどのようにコミュニケーションをとりますか？

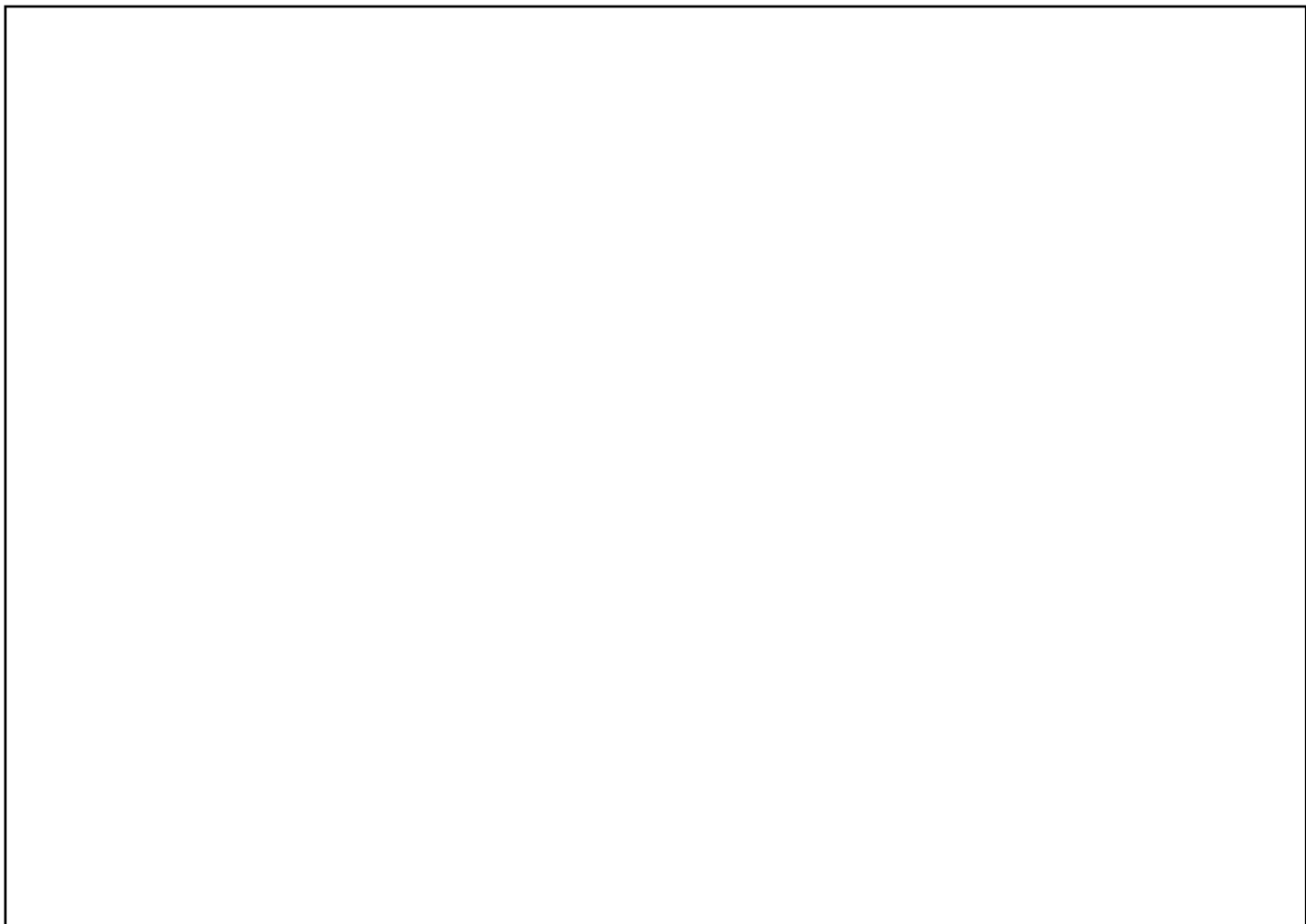
【個人ワーク】

【他者の意見】



## 演習⑥

○言葉だけで描いた図形を伝えよう



【送り手】 伝え方で工夫したこと

【聞き手】 このように伝えてもらえれば分かりやすかったなど

## 演習⑧

○碓さんとコミュニケーションを取る際に、考えられる方法を検討してみましょう

【個人ワーク】

【他者の意見】

○最初の演習との変化

【個人の意見】

【他者の意見】

## 演習⑨

①ウメさんの抱えている困難さはどのようなものでしょうか？

②どのような要因で困難さが生じているのでしょうか？

③困難さを解消するためにはどのようなことに着目しますか？

④着目した点を踏まえ、どのようなケアを行うことが考えられますか？

## 演習⑩

①ケンさんの抱えている困難さはどのようなものでしょうか？

②どのような要因で困難さが生じているのでしょうか？

③困難さを解消するためにはどのようなことに着目しますか？

④着目した点を踏まえ、どのようなケアを行うことが考えられますか？

## 演習⑪

①シゲオさんの抱えている困難さはどのようなものでしょうか？

②どのような要因で困難さが生じているのでしょうか？

③困難さを解消するためにはどのようなことに着目しますか？

④着目した点を踏まえ、どのようなケアを行うことが考えられますか？

## 演習⑫

○ショートステイの職員であるあなたは、どのように行動しますか？

【個人ワーク】

【他者の意見】

○最初の演習との変化

【個人の意見】

【他者の意見】